

吉野ヶ里町 林道橋個別施設計画

平成29年8月

吉野ヶ里町 農林課

1. 長寿命化修繕計画の目的

1) 背景

吉野ヶ里町農林課が管理する林道橋は、平成29年度現在で4橋が架設されている。このうち、建設後30年を経過する橋梁が1橋、20年未満の橋梁が3橋となっており、平均年齢が約20年と比較的若い橋梁がほとんどである。これらの橋梁を維持管理していくことに対し、今後、予防保全型の対応を行う必要があるが、橋梁の点検や修繕、架け替えに要する費用が増大となることが懸念される。

明細	単位	橋数	構造形式						橋梁年齢					
			RC橋	RCT橋	PC橋	鋼橋	BOX	その他	1～9年	10～19年	20～29年	30～39年	40～49年	50年以上
10m≦橋長<15m	橋	1			1								1	
15m≦橋長<25m	橋	1	1							1				
50m≦橋長	橋	2				2				2				
計	橋	4	1		1	2				3			1	

2) 目的

このような背景から、より計画的な橋梁の維持管理を行い、限られた財源の中で効率的に橋梁を維持していくための取り組みが不可欠となる。

そこで、吉野ヶ里町が管理している4本の林道橋について、今後、中長期的に効率よく予防保全的な維持管理していくためには、どの橋をどの段階で点検するのか、あるいは補修を行うのかを計画しておく必要がある。

吉野ヶ里町農林課では、林道橋に対する維持管理の効率化および林道の安全性の確保と林業の生産性の向上を図ることを目的に、林道橋の個別施設計画を策定するものである。

2. 橋梁個別施設計画の対象橋梁

対象橋梁の基本諸元

NO.	橋梁名	路線名	橋長(m)	幅員(m)	架設年度	構造形式
1	からほけ谷橋	蛤岳横断線	72.7	8.2	平成12年	鋼箱桁(非合成)
2	からほけ谷大橋	蛤岳横断線	99.0	8.2	平成14年	鋼箱桁(非合成)
3	丸尾橋	九千部山横断線	15.7	8.1	平成10年	RC中空床版
4	上坂本橋	坂本線	14.4	5.0	昭和50年	PC中空床版

3. 健全度の把握及び日常的な維持管理に関する基本的な方針

1) 健全度の把握の基本的な方針

定期点検（概略点検）や日常的な維持管理によって得られた結果に基づき、橋梁の損傷を早期に発見するとともに健全度を把握する。

2) 日常的な維持管理に関する基本的な方針

パトロール車による走行面の変状について点検を行う。

4. 対象橋梁の長寿命化と修繕・架替えに係る費用の効率化に関する基本的な方針

吉野ヶ里町が管理する林道橋は、全体で4橋と少なく、平均年齢が約20年と比較的若い。また、点検の結果から、全ての橋梁が「健全」と評価されている。

したがって、5年から10年の短期維持管理計画では、定期点検に費用を要すると考えられるため、実態に応じた形での計画とすることを目標とする。

そして、50年程度の中長期維持管理計画では、点検や補修に関わる維持管理費をできる限り効率よく、かつ業務の簡素化の観点から、5年～10年に1度、4橋全ての点検を行う方針とする。

5. 対象橋梁ごとの概ねの次回点検時期及び修繕内容・時期又は架替え時期

次ページによる

6. 長寿命化修繕計画による事業費の推移

橋梁個別施設計画を策定する4橋について、今後約50年間の事業費は、1億2300万円となる。短期的には、定期点検に費用を要することとなるが、50年をこえた時期から、補修工事などが発生してくる。このような維持管理を行うことにより、損傷に起因する通行制限などが減少し、林道の安全性と信頼性が確保でき、林業の生産性が向上することが期待できる。

